

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



会長：鈴木廣利 副会長：村松英昭 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1668回



2005-2006年度 RIテーマ
超私の奉仕
 カール・ヴァルヘルム・ステンハマー

<ソング> それでこそロータリー
 <ソングリーダー> 成瀬 弘明君

深山つつじ
 写真提供：鈴木舜光君

会長挨拶 鈴木 廣利君

今日はおにぎりのお話をしましょう。去る5月3日憲法記念日に静岡草薙運動場へ国際陸上静岡大会を見学に行ってきました。

おにぎりには季節はありません。もちろん季節感ありません。しかし、おにぎりの思い出は季節と共にあります。行楽、運動会、遠足等、今でもおむすびを作った時がおにぎりの季節だと思っています。

小学校の遠足で母親がにぎってくれたおにぎりはやや小さめだが、梅干、鮭、おかが入っていてゆで卵にタクワンが2～3切ついていた。中学校の運動会の時のおむすびは大きめの梅干の入ったのが2つであったが他におかずは何もなかった。しかし口にはほおばると、かすかに母の匂いがした事を憶えている。同じおにぎりでも家で食べるのより外で食べる方がずっとおいしく感じるのはなぜだろうか。

大人になってからは何処かに行く時には自分で作っているが、「おにぎりは自分で作るより人ににぎってもらう方がおいしい」といつも思う。誰がにぎったかで味も変わってくる。より身近な人になればなる程味わいも深くなるし更においしさも増す。今やおにぎりはコンビニの主力商品であると同時に専門店も増えて具も多彩になった。が肉だけはおにぎりの具には向かないと思っていましたが、私だけの一人よがりだったようで、今の若い人向きに「焼肉の具」のおにぎりがありました。これも現代人の多様性の表れでしょうか。

お茶とおにぎりの5月もあと10日余りになりました。

出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 41 63.41%	31 / 41 75.61%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 飯塚君 ○池ノ谷君 ○石垣君 ○杉山君
- 増田君 ○宮川君 ○村松宏君 青島彰君
- 浅川君 板倉君 栗原君 桜井富君 鈴木舜君
- 仲田晃君 望月志君

(2) メイクアップ者

- 宮崎 啓之進君(藤枝南)
- 里山-川の物語展
- 柳原 寿男君・成瀬 弘明君・栗原 毅君
- 松葉 義之君・青島 克郎君

外部卓話

藤枝子どもと本をつなぐ会

相馬登美子様



絵本の話をして下さいました。

(担当/望月俊)